

ふれあいひろば

松川町社会福祉協議会 Tel 0265-36-3778 編集・発行 ボランティア連絡会 編集部

*ボランティアだよりは皆様からご協力いただいた共同募金配分金で発行しています。



泰然自若

たいぜんじやく

(緊迫した状況にあっても常に落ち着き払っていて冷静な様)



新年の抱負

今日を楽しく...すむために何をやるか考える

いよいよ70代突入だから



今私にできる事をいさな事からサレば...

今年も明子の気持ちで過ごせたらいいなあ

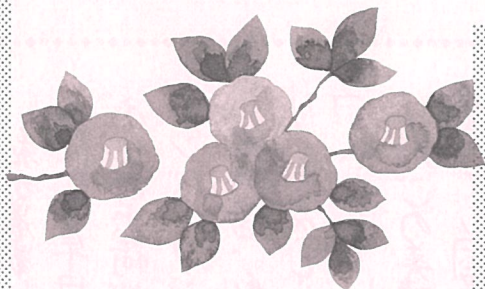
とし子



健康オー!

ムリしひい様 ほといほとい

にやる!! (つぱり...) 子子



暖かい陽の光や夕闇の静けさ
恵みの雨や雪に感謝しつつ過したい

せつこ

新しい年、令和六年が明けました。新春に神

社仏閣を訪れ、一年の無事を祈り、神仏に願を

かけ今年の意気込みを心に刻んだ方も多いでしょ

う。ところで皆さんは、どんな時に幸せを感じます

か? 幕末の歌人、橘曙覧(たちばなのあけみ)の

歌に、「たのしみは」という二首があります。

・たのしみは 妻子むつまじく

うちつどい 頭ならべて物をくふ時

・たのしみは とぼしきまゝに人集め

酒のめ 物を食へといふ時

どんな時代にあっても家族や友人が集まったの飲

食は、親睦や交流を深める良い機会ではあるが、

それも平和であってこそその事。

今も戦乱の続く地域では、いつ襲ってくるか知れ

ない空爆の恐怖に怯えながら、十分な食事も取れ

ないままに過ごす人々がいる事を忘れてはならない。

北島正隆

福祉を考える集会のお知らせ

第41回福祉を考える集会が2024年2月17日（土）に中央公民館えみりあで開かれます。今年度になり、地域活動が徐々に戻ってきました。そんな中には新しく始まった活動があります。そこに注目し、今私たちにできる事は何か一緒に考えてみましょう。



こども福祉教室 あいむ … ボランティア体験ツアー …

12月10日（日）、“ボランティア体験ツアー”を行い、障がいをお持ちの方と一緒にリニア・鉄道館と名古屋港水族館に行ってきました。

グループごとにどこで何をみたいか話し合ってからスタートです。リニア・鉄道館では、たくさん展示されている車両やジオラマに大人も子どもも興味津々に見つめていました。その後は、みんなが楽しみにしていた名古屋港水族館でイルカショーを観ました。イルカたちの大迫力のパフォーマンスを拍手と歓声で応援しました。

「どうしたらみんなと一緒に楽しめるんだろう?」「どんなお手伝いができるかな?」そんな思いを持って始まったボランティア体験ツアー。ツアー中には、障がいをお持ちの方のペースで一緒に歩いたり、お買い物のときにお土産を一緒に選んだり子ども達のステキな姿がたくさん見ることができました。



ほーい元氣? “ふじの魅力”

私が農家に嫁いで翌年、国光の樹に“ふじ”を接いでもらった。3年目には“ふつうふじ”が大玉の実をつけて初めてふじの出荷が始まった。あれから50年、未だにお客様の人気ナンバーワンのりんごに君臨している。

その昔、私が中学生の頃、母が近所のりんご農家さんからりんごをもらってきた。「これがふじっていうりんごだよ」「へえ〜」と家族みんなで分け合ってた思い出。そのりんごの美味しかった事。それ以来ふじを見る機会がなく、食べても国光であった。

その頃は、スターキングがあったり、デリシヤスがあり畑の隅には印度もあった。ふじはこのデリシヤスと国光を交配した品種で、国光は酸味が強く固めだが日持ちがする。一方デリシヤスは甘く、ミツが入るが早くボケてしまう。この二つのいいところ取りが“ふじ”らしい。酸味と甘さのバランスがよく、日持ちのする品種が生まれ、ふじの人氣が日本中に知れ渡り、くだもの里まつかわに、ふじを求めてお客様がドツというっしやるようになった。ふじは美味しいだけでなく人と人の心もつないでくれた。

お客様は言う、「ふじを食べている時の幸せ感に至福のひととき、いろいろ食べてきても、最後はふじ、ふじが一番だ」と。



中原すみ子